2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名(英)	商法ＩＡ（Commercial Law ＩＡ）		
ナンバリングコード	E30501	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 法律学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択必修:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース		
授業コード	E025601	クラス名	－
担当教員名	牧　真理子		
履修上の注意、 履修条件	レジュメは講義終了後にウェブ上にアップロードしておきますので、欠席した場合は各自入手してください。講義時間中に、小テスト(2回程度)を課す予定です。 私語、携帯電話の使用等、他の学生の受講の妨げとなる行為を禁止します。		
教科書	高橋英治『会社法概説(第4版)』(2020年、中央経済社)		
参考文献及び指定図書	なし		
関連科目	なし		

○成績評価の指標 / ○成績評価基準(合計100点)

到達目標の観点	到達目標	テスト(期末試験・中間確認等)	提出物(レポート・作品等)	無形成果(発表・その他)
【関心・意欲・態度】				
【知識・理解】	会社の機関構成について、概ね理解していること。	100点		
【技能・表現・ コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】				

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

成績評価は、筆記試験(小テスト(20%)、期末試験(80%))のみにより行います。
単位取得の基準点に達しない場合であっても、追試やレポートによる救済は一切行いません。

○授業の目的・概要等

授業の目的	商法ＩＡおよび商法ＩＢを受講することで、会社法の全体像をつかみ、会社法の基本的な概念、仕組みおよび制度趣旨について理解することを目的としています。 講義でとりあげる判例の理解を通して、組織のあり方や、事例解決のあり方について検討できるようになることを目指します。	
授業の概要	会社法の基本的な仕組みについて講義する。商法ＩＡでは、会社法総論や会社の機関構成について理解できるようにすることを目指します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	該当なし
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○その他

講義内容等の質問は、講義終了後に受け付けます。
教科書は、商法ＩＡおよび商法ＩＢで同じものを使用します。
その他、担当教員に連絡する必要があるときは、学務係を通じて行ってください。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： 商法ＩＡ（Commercial Law ＩＡ）　授業コード：E025601
担当教員： 牧　真理子

学修内容

1. 会社法の意義
本講義の導入として、商人と商行為の概念について説明します。
予習： 不要です。
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

2. 会社の種類、会社法の目的
会社の営利性、社団性、法人格について説明します。
予習： 教科書p.27～33を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

3. 会社法の基本原則、法人格否認の法理
所有と経営の分離、株主有限責任制度および法人格否認の法理について説明します。
予習： 教科書p.16～26を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

4. 株式(1)株式と株主
株主の地位、株主平等の原則および株主の権利行使に関する利益供与の禁止について説明します。
予習： 教科書p.62～67, 76を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

5. 株式(2)株式の譲渡と権利行使の方法
株式の種類、株式譲渡自由の原則およびその例外について説明します。
予習： 教科書p80～93を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

6. 機関総論、株主総会
株式会社の機関設計を概観します。
株主総会の権限、招集の手続および株主提案権について説明します。
予習： 教科書p.99～111を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

7. 株主の議決権、株主総会決議の瑕疵
一株一議決権の原則、株主の議決権の行使方法および株主総会決議の瑕疵について説明します。
予習： 教科書p.112～139を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

8. 取締役、取締役会、代表取締役
取締役、取締役会、代表取締役および社外取締役について説明します。
予習： 教科書p.140～152を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

○授業計画　科 目 名 ： 商法ＩＡ（Commercial Law ＩＡ）　授業コード：E025601
担当教員： 牧　真理子

学修内容

9. 取締役の義務(1)善管注意義務、忠実義務
会社と取締役の委任関係、善管注意義務と忠実義務、経営判断の原則について説明します。
予習： 教科書p153, 170を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

10. 取締役の義務(2)競業取引、利益相反取引
会社と取締役の間で利益衝突が生じる場合、すなわち競業取引と利益相反取締役について説明します。
予習： 教科書p.153～154を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

11. 監査役、監査役会、会計監査人
監査役、監査役会および会計監査人について説明します。
予習： 教科書p.172～183を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

12. 指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社
指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社について説明します。
予習： 教科書p.184～191を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

13. 役員等の責任(1)会社に対する責任
役員等の責任のうち、会社に対する任務懈怠責任について説明します。
予習： 教科書p.163～165を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

14. 役員等の責任(2)第三者に対する責任、違法行為の差止め
役員等の責任のうち、第三者に対する責任について説明します。
役員等の責任追及という事後的な救済手段のほか、予防的に取締役らの違法行為を差し止める手段について説明します。
予習： 教科書p.168～171を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

15. 株主代表訴訟
株主代表訴訟および多重代表訴訟について説明します。
予習： 教科書p.165～168を読んでください。（約1.0h）
復習： レジュメに掲げた条文を確認しながら、レジュメを読み返してください。（約1.0h）

16. 期末試験
予習：
復習：